

■ 松戸って、やさしい

松戸市立総合医療センターの特色

地域医療支援病院

地域がん診療連携拠点病院

地域周産期母子医療センター

救命救急センター

災害拠点病院



地域の小児・救急・高度医療を担う 松戸市立総合医療センター



屋上のヘリポート

ドクターカー
(救急担当のドクターを早く到着
させ、病院に着く前から医療を
開始します)



救急患者を受け入れており、千葉県北西部の高度医療や専門医療の中核をなす病院として知られています。

松戸市近郊はもとより、隣接する東京都や埼玉県など広い地域から救急患者を受け入れており、千葉県北西部の高度医療や専門医療の中核をなす病院として知られています。



災害時の対応も考慮されている
ホスピタルストリート

地域周産期母子医療センターって？

周産期とは、妊娠22週から生後7日未満までの時期のことで、合併症妊娠や母体・胎児や新生児の生命にかかわる事態が発生する可能性が高くなります。この周産期を含めた前後の期間に、分娩リスクの高い妊婦への対応が可能な産婦人科(産科)と、新生児の集中治療を行うNICUや発育支援を行うGCUを備えた新生児科の双方から、安心して出産ができるよう、医師とスタッフが24時間365日、一貫した医療を提供。赤ちゃんのケアやお母さんのサポートも行っています。

治療が必要な赤ちゃんを受け入れ、集中的な管理と治療・看護を行う集中治療室(NICU)



毎日18時～23時に診てくれる、 夜間小児急病センター

松戸市医師会の協力のもと、松戸市立総合医療センター内に「松戸市夜間小児急病センター」を開設。土曜・日曜・祝日も、毎日18時～23時まで、15才以下を対象に初期内科系疾患の診療をしています。市内の小児科医や小児の診療に慣れた医師が対応、センター内で薬も処方してくれます。

夜、お子さんが
急に発熱しても
慌てず受診

小児医療センター

小児科はもちろんのこと、小児外科・小児脳神経外科、小児心臓血管外科、小児集中治療科を備えた専門的な医療を担う小児医療センターは、多岐に渡る重症の子どもたちの治療に当たっています。また、全国で約40施設しかなく、千葉県東葛北部地域で小児集中治療室(PICU)があるのは、松戸市立総合医療センターのみ。地域の病院と連携を図りながら、子どもたちの命に向き合って、治療を行っています。

